

銀漢亭日録



伊藤伊那男

5月2日(水)▼今日は店開けることに。六月号の選句稿仕上げ。会員分は大溝さん、同人分は花果さんに取りに来て貰う。日録の不足分はまほさんに。選評、彗星集はこのあと。「宙句会」あと十人。新人会員一人。「未来図」の編集長、守屋さん、宗一郎さんなど。このあと、四日間休み。

3日(木)▼夕方、店の掃除。十九時、「十六夜句会」に出る。大野田さん誕生日とて、句会あと、「王家飯店」十二人で親睦会。あつという間に二十三時。

5日(土)▼九時半、小田急線鶴間駅。「早蕨句会」吟行会に参加。十七名。人工透析治療に入った保谷さんもお元氣に参加。「泉の森」の丘陵地帯を吟行。隣が厚木基地で米軍戦闘機が時々過ぎる。大和駅まで出て町田へ。昼食後、句会。俳話など。入院していた久重凜子さん登場。拍手で迎える。あと、「いろは寿司」にて親睦会。お開き後、久重さん他と喫茶店。幹事の釜沼さんに感謝。

6日(日)▼午後、中野サンプラザにて「春耕同人句会」五十六人。あと、「灸谷」にて親睦会。あと、窪田、池内、袖口、洋酔さん等ともう一軒。帰宅して娘夫婦と少し……。

7日(月)▼「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十人。堀葦男の弟子であった堺田さん。

8日(火)▼「あ・ん・ど・うクリニック」。明日、服の下取り屋さんが来るので、丁度、お掃除に来てくれる中根さんと徹底的に

少なく、私も交じる。堀切克洋君句集の跋文六枚手渡し。
17日(木)▼慶大丘の会の先輩橋本、谷本さん等三名、句会あと寄つて下さる。同じ句会の池田のりをさんも来店。水内慶太さん「月の匣」の総会の松山往復切符届けて下さる。別にお金が入っており往復の時間調整に酒でも飲んでくれ……と。何という気配り！「未来図」の守屋さん、「街」の竹内さん、「銀漢」の武田さん、今日アルバイトの「天為」の天野さんと入れ替わり立ち代わり四人の編集長。加えて元「俳句」編集長の鈴木忍さん。元伊勢神宮の河合真如さん、宮澤と打ち合わせに。伊勢市出身の役者岡明子さんも。

18日(金)▼発行所「蕨句会」へ選句。あと七人店へ。入れ替わりに藤森莊吉さんの「聞句会」八人。二十一時半閉店。

19日(土)▼正午、軽井沢プリンスホテル。宮坂静生先生の「岳」四十周年記念大会。柳田邦男、ア・サー・ビナード氏のジョイントトークを聞く。祝宴まで一時間休憩あり、駅に行き、指定席変更、アウトレットで仕事用の靴二足購入(puma)と大忙し。十五時半、祝宴。加古宗也、月野ぼな、佐藤文子、坂口昌弘、酒井佐忠氏などと同席。三時間を超えるパーティー。三百人位いたか。日帰り。

20日(日)▼正午、早稲田のリーガロイヤルホテル東京にて「南風」主宰村上鞆彦、今泉礼奈さん結婚披露宴。礼奈さんは学生時代、銀漢亭のアルバイト。私が婚姻届の証人。今日は乾杯の発声役。俳人が客の半分。八十人位は集まったか。盛大。二次会も近くの店。俳句詠み合わせ相撲などもあり。あと高田馬場近くで銀漢亭仲間八人ほどで三次会。連日のパーティーでヘトヘト。

服の整理。随分すっきり。あとは本の整理をしないと。店、「火の会」十人。皆川文弘さん。

9日(水)▼武田禪次さんより、癌の疑い晴れたと。かれこれ一年近く色々な検査の末。心労多かったと思う。よかった！発行所、「梶の葉句会」。あと、「きさらぎ句会」。終わって六人店へ。麦、羽衣衣さん。国会議員のT先生久々。

10日(木)▼発行所六月号の校正と編集会議。「極句会」は店で句会。洋酔さんゲスト。あと親睦会十四人。

11日(金)▼第三句集の原稿、北辰社へ渡す。カバの写真、提供を宮澤に依頼。店、「大倉句会」あと十五人。

12日(土)▼十時、発行所にて運営委員会。午後、「銀漢本部句会」五十六人。終わって「王家飯店」にて親睦会。

13日(日)▼終日家。休養。堀切克洋君句集の跋文用意。夕食。鯉の叩き、雲吞など作る。

14日(月)▼昼、「文学の森」創立十五周年祝賀会と各賞贈賞式。京王プラザホテルのコンコードボールルームC。堀切克洋君、第八回北斗賞受賞にて招待客として。増成栗人、大高霧海、鳥居真里子、木暮陶句郎、杉阪大和氏等と同席。終わって店。ただし本日は閑散。

15日(火)▼十三時過、店に入り仕込み。関西の高野清風さんを座長とする「葵句会」の面々。子規庵子規の墓を巡って、銀漢亭へ。十五名。句会と宴会。清人さんが気仙沼の生牡蠣殻付き、刺き身、海鞘、刺身を用意。

16日(水)▼店、水内慶太、麻里伊、十朗さん。「三水会」四人。客

21日(月)▼店、「演劇人句会」八人。三輪初子さん他。洋酔さんひよっこり来店。奥さん骨折で入院中。

22日(火)▼角川「俳句」七月号へ十六句送る。「俳句aあるふあ」の料理頁の校正。

23日(水)▼店、「雛句会」十一人。メンバーは野村證券出身者。全く別に野村證券で三十年中国にいた川畑保さんが数年振りに来店。

24日(木)▼予約等無い日。宗一郎、るび、近恵、はじめ、硯児さんなど常連だけ。二十二時には閉める。

25日(金)▼野村證券同期生で奈良在住の畑中利久君と学習院の仲間四人来店。畑中君は八年勤務の後、独立。奈良を舞台にホテル経営。奈良国立博物館、春日大社国宝館に各々カフェ開店。大阪中心に中華料理九店、来年一月に三越銀座店に出店準備中。会うのは四十数年振り。七月に奈良で会う約束。発行所「門」同人会。あと丸山さん。「金星句会」あと五人。

26日(土)▼午前中ゆつくり。うたた寝など。十六時から、銀漢亭にて倒産した金融会社の同窓会。男八人、女五人集まる。思い出話や近況など語り合い、二十二時過ぎまで。新入社員だった女性が五十歳になったという。往事茫々の思い。

27日(日)▼終日家。七月号の選句終える。うたた寝。夕飯担当。ステーキ焼く。安い肉ながら焼き方に自信あり。宮澤は新潟へ出張中。二十一時過ぎに寝る。

28日(月)▼九時間以上寝たか。風邪どうやら回復。血圧もいつもより低い！